

発行所 田代村公民館  
電話 19番  
発行責任者 小川 兵一  
編集責任者 白桃 進  
大根占町神之浜  
三開社印刷部 電 70

教育長 小牧 辰己

学校に通わている子供を持つ親として、良い先生から立派な教育をしていた。と希わない人は、この三月末の定期異動に際し小中高計十二名が転退の発令があり、後任として有難き極みであります。近親感を深め、子供を中心とする付き合いを切にお願い致します次第であります。学校では新しい陣容のもの

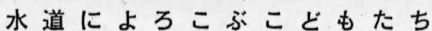
省みて

中心にして本年度の力強い出発をしておられます。たのもし限りです。村民の皆さん、ぐんぐん伸びる子供さんを真中にして、学校、家庭、社会三者一体となって

先生の指導に 応じて、知、徳、 体、と絶えず伸びるよう に努力して下さる先生、内 面に躍動する指導性のある 先生など……	の田代村へは先生は一人 でもありませんでした（今 年だけで）で、御無理 を願った次第であります 郡、県の中心地から程遠い	花瀬公園祭りの花形は 何と言っても、吾平町を 含めた、南隅五ヶ町村青年 組善歌駅伝競走で、 今年も事前に五ヶ町村の
---	--	---

々の個性あり、特性あり、  
 しかし先生方は個性々々  
 わが田代へ来ていただいた  
 任の先生を、二回に亘つて  
 青年団長並に各高校校体育主  
 任の先生を、二回に亘つて  
 田代公民館に会合して、  
 慎重審議を重ね、細部に  
 亘る打合せもとどおりに

水道施設完成



長い間水の不足で苦んだ田代小学校は三十数年前に一銭金堀によって購入された学校林を材源にして、総工費六十七万九千円をかけた三月着工四月二十六日完成されました。小学校約一千名の児童、中学校約四百名の喜びは如何ばかりでしょう。言語に絶するものがあります。今日あるを期して先輩が残された学校林により水施設が完成されましたことを心から感謝申し上げます。

4月1日、各小中学校入学式  
4月1日、前村長上田政吉氏午前3  
時自宅にて逝去さる  
4月3日、花瀬公園祭り南隅五ヶ  
町村親善駅伝競走、1位は田代  
高校Aチーム  
4月3日、前村長上田政吉氏告別  
式  
4月7日、田代連合青年団総会、  
新団長に川前徳夫氏選任さる。  
4月15日、村婦人大会が開催さる  
4月24日、4ヶ町村弓道大会が田  
代村公民館にて開催さる。

なく終り、愈々当日の熱戦「バスをかり出し

なく終り、愈々当日の熱戦を待つのみとなつてゐた矢先、元村長上田政吉氏逝去の悲報に接したのであった。村では取るものも取りあはず、村長のもとに、議長以下重臣会議が開かれ、種々検討の結果、花瀬公園築りは、近年一人村内行事に止まらず、村外的な行事として発展して来ている時、内輪の事情で、之を予告なくして急に取り止めた場合、事、花瀬公園駅伝が来た。町下り相當な迷惑を及ぼす。郡下の関心も平乎つゝある。

バスをかり出しての遠来の観客もどつとつめかけ、開会式も予定通り進行し、定刻十時の時報には寸秒たがわず熱戦の幕は切つておとされたのである。

今年の駅伝を省みて、持筆すべき事は、高校チームの実力が飛躍的に伸びて来た事、沿道の観客の駅伝に対する認識が高まり、応援する態度が洗練されて来た事、

ほすであらうと言う事が第一点にあげられ、第二点として、上田村長は生前、私事を以て公事を左右してはならぬと、強く戒めて居られた事があげられ、上田村長は單ろ、公園祭りをとこおりになく進行する事を、草葉の陰より望んで居られるであらう、と言う結論に達し、公園祭りは自肅して予定通り実施に踏み切る事となつたのであつた。

四月三日は懸念された時候も絶好の駅伝日和に恵まれ、早朝より手ぐすねひいた各町村のチームを初め、

事、其の度に来年あたりからは、郡内全町参加の氣運が生れつゝある事などであらう。

さらに花瀬公園祭りに全体を省みて、特に目立って来た事は、外来客が激増して来た事であらう。

遠くは宮崎交通のバス迄くり入れていたようであつたが、外部からの遊客バス最低二台、一台平均五〇人と見ても、ゆうに一人名の外来客があつた勘定になる。

此の事が今直ちに我が村の經濟面や其の他にプラス

一部訂正

○一面定例監査の結果中  
下二段目の厚生係、  
保育所費の食糧費か  
他費目へ、八九、五〇〇  
とあるは、九、五〇〇円  
誤植でありましたので、  
正致します

哀悼の意を捧ぐ

終戦後間もない昭和二十二年五月村長當選以來三期十二ヶ年、田代村振興のため献身的努力を尽された上田市政吉氏は、村長離任後一ヶ年も経たない去る四月九日午前三時半急逝されました。剛果果断然も情味あふるゝ人格、輝かしい業績を残された方として哀惜の情つきのものがありますこゝに哀悼の誠を捧げ御冥福を心からお祈り致します。

逆者にて何よりそれ以来、は

と存じます。

今回一人暮らしの老母「八十七才」のため又子孫の将来性を見守るため、四月半ばに垂水市へ移転することに致しました。

時に回顧致しますと、小学時に在校を卒業と同時に郷里をなれ郡内を振り出しに朝鮮台湾、門司、明石等々として、林美美子さんではなないが流浪放浪の旅を続け漸く郷里に落ちついたのが昭和二十七年四月でした。

に志して村御当局を始め、皆さん方の絶大なる御指導御援助に依り、今日まで無事に乗り過して参りましたが、今度は前述の理由にて凡てを投げ出して墳墓の地を去ることは、皆さんとの永遠のお別れかと思うと痛惜の念に堪えず、実に感慨無量先祖に対して申し訳ない気持ちでいっぱいです。

過去の生活は殆んど对他依存の生活でしたが、今後は悠々自適自己に撤するを

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100  
101  
102  
103  
104  
105  
106  
107  
108  
109  
110  
111  
112  
113  
114  
115  
116  
117  
118  
119  
120  
121  
122  
123  
124  
125  
126  
127  
128  
129  
130  
131  
132  
133  
134  
135  
136  
137  
138  
139  
140  
141  
142  
143  
144  
145  
146  
147  
148  
149  
150  
151  
152  
153  
154  
155  
156  
157  
158  
159  
160  
161  
162  
163  
164  
165  
166  
167  
168  
169  
170  
171  
172  
173  
174  
175  
176  
177  
178  
179  
180  
181  
182  
183  
184  
185  
186  
187  
188  
189  
190  
191  
192  
193  
194  
195  
196  
197  
198  
199  
200  
201  
202  
203  
204  
205  
206  
207  
208  
209  
210  
211  
212  
213  
214  
215  
216  
217  
218  
219  
220  
221  
222  
223  
224  
225  
226  
227  
228  
229  
230  
231  
232  
233  
234  
235  
236  
237  
238  
239  
240  
241  
242  
243  
244  
245  
246  
247  
248  
249  
250  
251  
252  
253  
254  
255  
256  
257  
258  
259  
260  
261  
262  
263  
264  
265  
266  
267  
268  
269  
270  
271  
272  
273  
274  
275  
276  
277  
278  
279  
280  
281  
282  
283  
284  
285  
286  
287  
288  
289  
290  
291  
292  
293  
294  
295  
296  
297  
298  
299  
300  
301  
302  
303  
304  
305  
306  
307  
308  
309  
310  
311  
312  
313  
314  
315  
316  
317  
318  
319  
320  
321  
322  
323  
324  
325  
326  
327  
328  
329  
330  
331  
332  
333  
334  
335  
336  
337  
338  
339  
340  
341  
342  
343  
344  
345  
346  
347  
348  
349  
350  
351  
352  
353  
354  
355  
356  
357  
358  
359  
360  
361  
362  
363  
364  
365  
366  
367  
368  
369  
370  
371  
372  
373  
374  
375  
376  
377  
378  
379  
380  
381  
382  
383  
384  
385  
386  
387  
388  
389  
390  
391  
392  
393  
394  
395  
396  
397  
398  
399  
400  
401  
402  
403  
404  
405  
406  
407  
408  
409  
410  
411  
412  
413  
414  
415  
416  
417  
418  
419  
420  
421  
422  
423  
424  
425  
426  
427  
428  
429  
430  
431  
432  
433  
434  
435  
436  
437  
438  
439  
440  
441  
442  
443  
444  
445  
446  
447  
448  
449  
450  
451  
452  
453  
454  
455  
456  
457  
458  
459  
460  
461  
462  
463  
464  
465  
466  
467  
468  
469  
470  
471  
472  
473  
474  
475  
476  
477  
478  
479  
480  
481  
482  
483  
484  
485  
486  
487  
488  
489  
490  
491  
492  
493  
494  
495  
496  
497  
498  
499  
500  
501  
502  
503  
504  
505  
506  
507  
508  
509  
510  
511  
512  
513  
514  
515  
516  
517  
518  
519  
520  
521  
522  
523  
524  
525  
526  
527  
528  
529  
530  
531  
532  
533  
534  
535  
536  
537  
538  
539  
540  
541  
542  
543  
544  
545  
546  
547  
548  
549  
550  
551  
552  
553  
554  
555  
556  
557  
558  
559  
560  
561  
562  
563  
564  
565  
566  
567  
568  
569  
570  
571  
572  
573  
574  
575  
576  
577  
578  
579  
580  
581  
582  
583  
584  
585  
586  
587  
588  
589  
590  
591  
592  
593  
594  
595  
596  
597  
598  
599  
600  
601  
602  
603  
604  
605  
606  
607  
608  
609  
610  
611  
612  
613  
614  
615  
616  
617  
618  
619  
620  
621  
622  
623  
624  
625  
626  
627  
628  
629  
630  
631  
632  
633  
634  
635  
636  
637  
638  
639  
640  
641  
642  
643  
644  
645  
646  
647  
648  
649  
650  
651  
652  
653  
654  
655  
656  
657  
658  
659  
660  
661  
662  
663  
664  
665  
666  
667  
668  
669  
670  
671  
672  
673  
674  
675  
676  
677  
678  
679  
680  
681  
682  
683  
684  
685  
686  
687  
688  
689  
690  
691  
692  
693  
694  
695  
696  
697  
698  
699  
700  
701  
702  
703  
704  
705  
706  
707  
708  
709  
710  
711  
712  
713  
714  
715  
716  
717  
718  
719  
720  
721  
722  
723  
724  
725  
726  
727  
728  
729  
730  
731  
732  
733  
734  
735  
736  
737  
738  
739  
740  
741  
742  
743  
744  
745  
746  
747  
748  
749  
750  
751  
752  
753  
754  
755  
756  
757  
758  
759  
760  
761  
762  
763  
764  
765  
766  
767  
768  
769  
770  
771  
772  
773  
774  
775  
776  
777  
778  
779  
780  
781  
782  
783  
784  
785  
786  
787  
788  
789  
790  
791  
792  
793  
794  
795  
796  
797  
798  
799  
800  
801  
802  
803  
804  
805  
806  
807  
808  
809  
810  
811  
812  
813  
814  
815  
816  
817  
818  
819  
820  
821  
822  
823  
824  
825  
826  
827  
828  
829  
830  
831  
832  
833  
834  
835  
836  
837  
838  
839  
840  
84

ある小金持ちで、ときどき金貸しをした人の話を聞いたことがある。

奇妙なことにとりはぐれたことがないと言ふ。

「おれの金儲は極めて安全なんだ」と豪語している。機嫌のよいとき其の金蔵なもの、秘決を話してもらつた。これがなかなか面白い。どうせ、貧乏人相手の金貸しなのだから、しかる物的担保などありようはずがない。又強引に病人の蒲団をはがせないまでも無理を云つてまでと云うような強相の人物でもない様だ。

ある。借金のお申込みを受ける。家の中から出てきてすく腹けるようになつていなければならぬと言ふ訳である。

食事時以外に訪問したのに、膳の上にい汚く食器類や鍋類が置かれていたりするのは、だらしない証候である。

其の外すべてバランスのとれていることが大事なことだ。家の中に、妙に大きな鏡台やタンスが置いてあるのも感心しない。

貧乏人の家に入つて見て脂粉の匂つたりするのは頭をかしげさせるといふのである。

けると、その人は必ず相手の家に行つてゐる。どんなみすばらしい九尺二間の長屋の様な家でもよろしい。しかし戸口をがらつと開けて見たとんに、一応の判断が閃く。それは下駄や、靴や草履の並べ方である。乱雑である。ぬぎっぱなしであるというのが一番いけない。つまり腹物の爪先が揃つてゐる。六十の手習いと思つて再出発の決意で修業したい決心で居りますので、一層の御指導をお祈り致すと同時に皆様方の御多幸を念願し、恐縮ながら紙上にてお別れの御挨拶に代へさせて頂きます。

先は御礼々々お別れまでに

昭和三十五年四月  
垂水市田神地区市営住宅九十一号

小路善吉  
全タキ





